

日本J C交流委員会がお送りする 出向者応援新聞

「Liaison（リエゾン）」とは、ある地点や音をつなぐもの、またつなぐことによって新たに生まれるものを持つ意味する仏語。横浜JCと出向者をつなぐ新聞という意味で名付けました。

liaison

**政治や制度の枠を飛び越え
アジアをひとつに繋げる民間外交を！**



公益社団法人日本青年会議所 国際グループ アジアアライアンス確立委員会

社団法人横浜青年会議所から出向しているメンバー172名を紹介し、応援する当企画。第一弾はアジア各国と日本の架け橋となるべく日々活動している「アジアアライアンス確立委員会」をご紹介します。

国家間で抱える諸問題を超えて、ア
ジア全体の安定に向けて民間外交を推

J C の存在する国とだけでなく、中国などの国々とも積極的に交流し、日本 J C がアジア各国の橋渡し役となつて相互理解の機会を創出、相互発展に繋がる関係を構築する…。そうした崇高な使命を掲げ、日々活動しているのを、ス確立委員会」だ。

ループに所属する「アジアアライアン

民間外交を推し進めていこう、積極的に交流していこう！という意思だ。

横浜からは、運営幹事秋元学君をはじめとし、太田智洋君、古屋裕貴江君、季玉平君、松岡健次君の5名が出向している。

開港当時から未知の異文化と積極的に交流することで発展してきた横浜。その横浜を代表してアジアアライアンス確立委員会へと出向し、アジア各国との新たな架け橋を築かんとしている彼らにエールを！

国交正常化から40年目を迎える中国と「日中中期ビジョン5ヶ年計画」に基づき、中華全国青年聯合会と地方都市同士の相互交流促進を図り、災害対策や災害時のネットワークの情報交換などの交流を促進すること。また、JCIアジア太平洋地域でのNOM諸会議・諸大会においては連絡窓口となり、訪日する各国NOM役員に対応するなど円滑に対話できるようサポートを行うこと、などを事業計画として掲げて

うこと、などを事業計画として掲げて
いる。

「当委員会（アジアラ）が、アジアのデコボコを平らにする！」という表現をよく使う、とのこと。政治的に複雑な関係（デコボコ）に縛られることなく、



「アジアアライアンス確立委員会 事業計画」

1. 日中中期ビジョン5ヶ年計画による更なる交流の推進
 2. JCI アジア太平洋地域におけるNOM諸会議・諸大会への対応
 3. JCI アジア太平洋地域におけるNOM役員の対応
 4. JCI APDCの協力及び支援
 5. 「日本JC日中友好の会」との連携

アジアラは
アジアのかけはし
ペイオニ

ハニカム

今日は無理
無理がきかぬが
じこ呑み

太田智洋

二〇

得たものすべてが
宝なり

古屋裕貴江

日中を

つなぐ私の
晴れ舞台

李玉平

ニッポンと アジアの架け橋

七八烟庫

松岡健次

盛岡の地から復興を願う
「復興創造フォーラム2012」

3月10日（土）・11日（日）岩手県盛岡市において、公益社団法人日本青年会議所第139回総会および「復興創造フォーラム2012」が開催されました。今回はその「復興創造フォーラム2012」で11日（日）に行われた「東日本大震災合同慰靈祭」について、復興支援委員会出向者が報告します。

的、継続的に支援活動を行い、東日本大震災で犠牲となつた1584人の方々に追悼の意を表すことを目的として開催されました。

ともに献花、閉会後には参加者から
の献花が取り行われました。

復興支援委員会としては合同慰霊
祭という今までにない事業を、緊張感
を持って取り組みました。

いつまでも東北に心を寄せ、東北
の今を見つめ、聴き、考え、伝え
動くこと。自分の住む地域にも起こ
り得る災害に備えること。過去の災
害に学び、想定外を想定した災害に
備えることを、全国のJCメンバー一
に伝えていきたいと思います。

(記事／遠藤哉)



神戸の地を交々に訪れて事業等に関する情報交換を行い、互いの交流を深めることによって今後の事業展開に幅を持たせ、精度を深める目的で開催されています。

した。懇親会後は、事業モデルの似たライン同士をコーディネイトした二次会へ。当委員会も神戸の渉外担当委員会と懇親を深め、今後の海外活動協力を再確認しました。

今回、会議を設えていただいた神戸JCの皆様、仙台JCの皆様、そして横浜から参加いただいた皆様に、お世話になりました。ありがとうございました。

文子氏とサマー・コンファレンスなどについての会談のため、ハ
益社団法人日本青年会議所・井川直樹会頭、後藤素彦副会頭
サマー・コンファレンス運営委員会

3月11日(土)・12日(日) 神戸の地において友好JC定例会議が開催されました。

での共同開催が予定されている震災復興共同事業についても情報共有が行われるなど、盛り沢山の内容となりました。

重な時間を過ごしました。
定例会議のスケジュールとしては
ここで終了しましたが、18日午後に
は神戸・横浜の「フットサルメンバーバー
が集い、足技を競う「友好JC親善
フットサル大会」が開催され、充実
した二日間となりました。



「港だけではない横浜の魅力」を神戸 J C、仙台 J C の皆様にお伝えするため、懇親会会場にて PR を行いました。

日本JC交流委員会のアテンド活動報告！

当委員会では、日本JC各会議・委員会、神奈川プロック協議会における横浜での会議開催を全力でサポートいたします。



2012/3/1

各地青年会議所から多くのメンバーに参加いただいた「東日本大震災合同慰靈祭」。横浜から副委員長として出向している文字放想君をはじめとする復興支援委員会出身メンバーが活躍していました。